

# 故事成語

## とら い か きつね - 虎の威を借る狐 -

**意味**  
(いみ)

強い者の力を借りて、大して強くもないのに  
いばっている弱者のこと。

**由来**  
(ゆらい)

虎につかまえられ、食べられそうになった、  
狐が、「私は神から、王に命じられた  
から、食べると神を怒らせること  
になるよ。」と嘘をつく。

※ 昔から伝わる  
話。(今回は)

そして、「嘘だ」と思うなら、私のあとに、  
ついて来なさい。」と狐がいうと、  
まわりは、虎をおそえて逃げていくが、  
虎は狐の言葉を信じ、だまされてしまう。

**ストーリー**



**例**

あの人は野球の名門校に通っている。  
でもあの人は野球部でもないのに、態度が大きい。  
まさに、虎の威を借る狐だよ。

こんな人  
こんな時に!!

- 自分のバックにはヤクザがいると脅す。
- 私の父は大企業の社長だから自分もすごいと言う人。

かほつ まし  
管鮑の交わり

◦ 仲の良い友人同士のこと

◦ 利害を越えた親しい友人関係

◇ 由来

1

とても仲の良い  
2人の男がいた。

管仲と鮑叔という  
友という国に

2

しかし、鮑叔は決して  
文句を言わなかった。

2人は商売を始めたが、  
管仲が鮑叔に苦労をかける  
ことも多々あった。

3

後に管仲は宰相(王の右腕)  
となり、鮑叔はその部下  
として仕えた。

4

管鮑の交わりといふ言葉である

彼一人です。

私のことを  
理解できるのは

「鮑叔がこう言ったことから、  
この言葉が生まれたという。」

◇ 一言メモ

〈使用例〉「あなたとの管鮑の交わりを大切にしたい。」

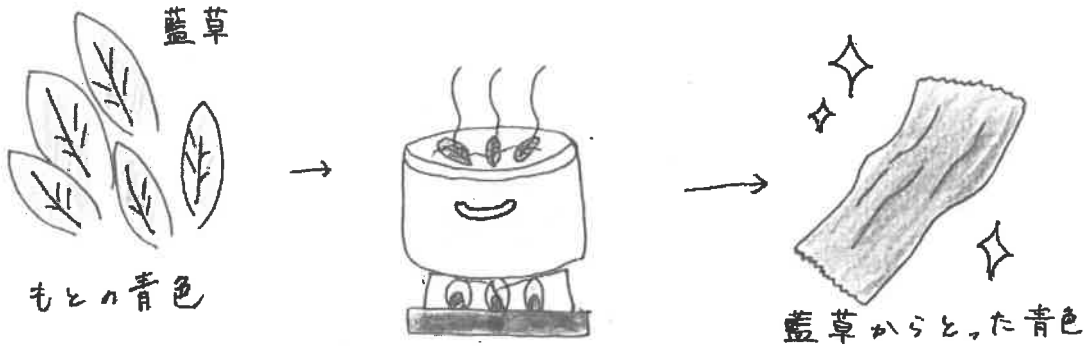
〈オススメの人・場面〉

- 人間関係において 何を大切にすべきか悩んでいる人にオススメ。

あか 青は藍より出でて藍より青し

(生徒が先生よりも優れた存在になること)  
教えられる人 教える人 凄い

◇ 由来



藍草からとった染料の青色が、もとの藍草よりも青いということ。

◇ 使用例

生徒が先生よりバイオリンが上手になった!!

彼は師匠より凄い成績を残した!

僕の方が先輩なのに僕より仕事ができるね!!

「青は藍より出でて藍より青しだね!」

<プラスポイントメモ>

どんな人にオススメ??



と伝えたい時!!

—この言葉が伝えたいこと—  
学問や努力により、人々はどんどん成長できるよ!!

# ふんけい 刎頸の交わり

互いに首を斬られても  
後悔しないような仲

## ○由来

戦国時代末期の趙の国

### 藺相如 (りんしょうじょ)

巧みな弁論術で  
秦からお宝を  
持ち帰って出世した  
すごい人。



### 廉頗 (れんぱ)

すごい將軍。  
口先だけで出世した  
藺相如に不満を持つ

①



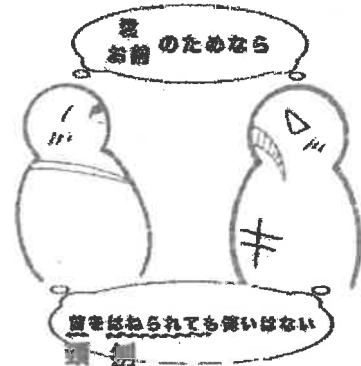
②



③



④



## ○一言メモ

使い方：メロスとセリヌンティウスは刎頸の交わりといった仲である。

「刎」は、切る・はねる。「頸」は、首。「刎頸」は、首をはねるという意味がある。

ち いん  
知 □ 音 □

親友。

互いに知り尽くした仲。

・由来

～春秋時代～

高山

すばらしい、高く険しく  
そびえて泰山のようだ。

伯牙

鍾子期



伯牙は琴を弾くことがうまく、  
鍾子期は琴の音を聴きわけ  
ることがうまかった。

春秋時代に伯牙が琴を弾  
きながら「高山」のことを考  
えていると鍾子期が「すば  
らしい、高く険しくそびえ  
て泰山のようだ」と言い、  
伯牙の心情を言いあてた話  
に基づく。

よ

・ひとことメモ

例文：彼は私にとっては知音である。

類疑語：「知己」…自分を理解してくれる友。

仲の良い友達を紹介するときなどにオススメ。



# 逆魚鱗に触れる

君主や上司、目上の人などの  
機嫌をそこねてしまい、激しく  
怒られることの例え

## ◇由来

- ・<sup>げき</sup>逆<sup>りん</sup>魚鱗：竜のあごの下にある逆さに生えたうろこで  
触れると、竜が怒り触れた者を殺してしまうという伝説がある



そして、韓非子という人が、「君主にも逆魚鱗があるため君主に意見を述べる際は、逆魚鱗に触れないようにすべき」と説いた。

それが目上の人を怒らせてしまう、という意味となった。

## ◇使い方

- ・目上の人(上司、先生、親 etc...)を怒らせてしまったとき

# 良薬口に苦し

よい薬は飲みにくいけどよく利くこと。

よい忠告は聞き入れにくいけど身のためになるというたとえ

◦由来

〈<sup>こうしげご</sup>孔子家語が由来とされる説〉

↳ 中国の昔の本

↳ 他にも2つの説がある

孔子家語の1文

「孔子曰く、良薬は口に苦くして病に利あり、忠言は耳に逆らいて行いに利あり」

↳ 意味

「よい薬は苦いが、良薬は病気を治してくれる。忠告は聞きづらいが行動のためになる」

◦使用例

早くお風呂入りなさい  
宿題もきちんと  
やりなさい!!



うるさいなあ〜  
めんどくさい〜



宿題をやて早くお風呂  
に入ると寝る時間まで  
自由にたのしく  
お"せるぞ"  
お父さんにもおこられないし  
いいことばかりだよ



「良薬口に苦し」  
というし、お父さんの言を通り  
お風呂に入るわ!



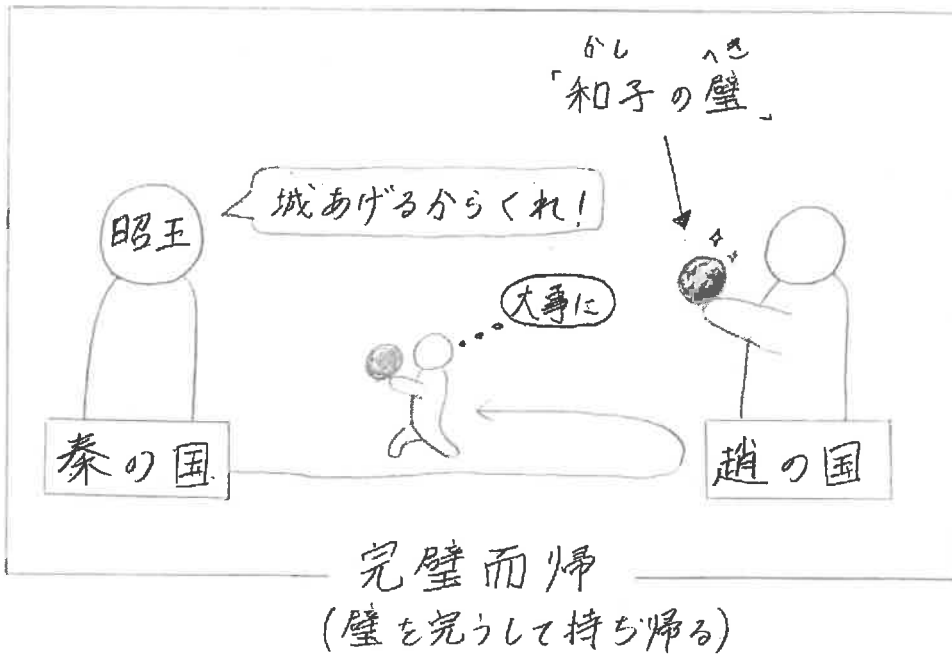


# 「完璧」

(完全無欠。一つも欠点がなく、完全なこと)

## ◇由来

「璧(へき)」は平らで中央に穴のあいた宝玉のこと。  
「傷のない玉」が本来の意味である。



### <図説>

秦の国の王は趙の国にある「和子の璧」というとてもきれいな宝玉が欲しくなった。そこで王は使いを出して「和子の璧」を持って帰らそうとした。王は「城を趙の国にあげる」と言っていたがウソだったので、使いは命懸けて持ち帰った。

## ◇使用例

・今日のテストは完璧だった。

## ◇使ってほしい人

・ベストをつくせた人

・努力した人

# 四面楚歌

し めん そ か  
 しゅうい 周 囲 が みんな  
 てき 敵 や はんたいしや 反対者 ばかり であふと

からい 自由 来



かん 漢 の しゅうほう 劉邦 さん



そ 楚 の こくう 項羽 さん



敵の漢から、自身の国(楚)の歌が聞こえる。

→ 仲間が敵に (そ、そんは!) になっている。

なぜ.....  
 私の国(楚)の歌が聞こえるのだ!

□ひとひとモ  
 ~使い方~

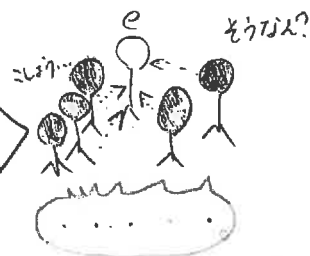


目玉焼きには、  
 醤油!! だよね!  
 しんじょう

ね



私  
 え  
 胡椒 や? ?  
 こしろう



私の意見に賛同した人は一人もおらず、まさに四面楚歌だった。

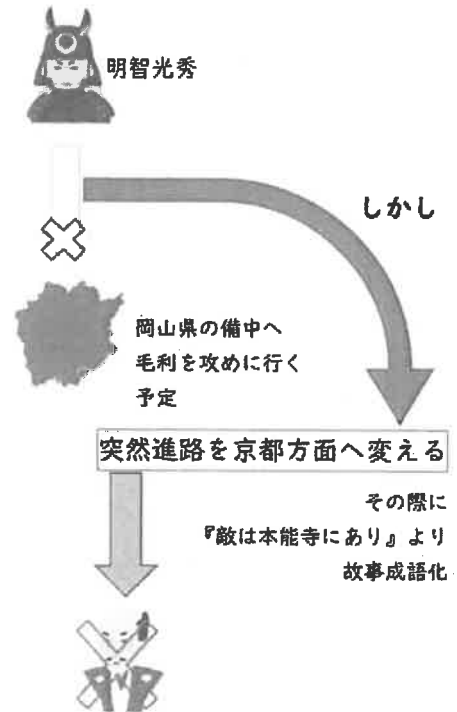


# 『敵は本能寺にあり』

・・・本当の目的は別のところにあること

## ☆由来

1582年（天正10年）、戦国武将・明智光秀が、主君織田信長の命により備中（現在の岡山県西部）の毛利を攻めにいくと見せかけて、突然進路を反対の東へ変え、「敵は本能寺にあり」と言って、京都の本能寺に止宿していた信長を急襲したことに由来。



## ☆例文

- ・彼が野球部に入部したのは甲子園に出場するためだと周りのみんなが思っていました。「敵は本能寺にあり」。彼はプロ野球に入団して経済的に母親を助けたかったです。
- ・授業中、窓の外ばかり眺めていた彼。しかし、2年生になってから真剣に勉強するようになりました。「敵は本能寺にあり」。彼は憧れのA先生と会話してみたかっただけです。
- ・合コンのとき、Bは目の前のCさんとばかり話して盛り上がっていたのに、「敵は本能寺にあり」で、実際に付き合い始めたのはCさんの隣に座っていたDさんでした。

# 五十歩百歩 (比較する二つに差があっても結果的には絶対的差がないこと。)

## ◇由来

梁の王が自らは善政を行っているのに、隣国と比べても長が増えぬのを孟子に質問したところ、孟子が王の好きな戦争にたとえて、「戦場から五十歩逃げたものが、百歩逃げた兵を笑ったがどっちも逃げたため、どっちにも大した差はない」というたとえ。



○ 200と100

○ 「こじつぽひゃつぽ」ではなく「こじつぽひゃつぽ」

## 例

- 同じレベルに争っているとき
- どっちも差がないとき
- 拮抗しているとき

## 例々

○ 子供が身長くらべているが、大人の私から見ると 五十歩百歩だ。

## 類語

一寸法師の背比べ / 大同小異 / どんくりの背比べ / 似たり窺たり